

千葉県版

NO.421

2023年7月15日

発行所

治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟

千葉県本部

〒260-0854

千葉市中央区

長洲1-10-8

自治体福祉

センター1階

電話

090-7909-0849

(小松 敦)

FAX

043-441-5094

Eメール

a-komatu@jk9.  
so-net. ne. jp

千葉県「版」編集部

連絡先 七里一司

電話・FAX

047-314-8714

**飯島喜美** 戦前の紡績工場で女工哀史そのままの過酷な労働を強いられるなか、16歳の若さで500人の女工たちの先頭に立ちストライキを指導した喜美。迫害を恐れず17歳で日本共産党に入党。写真の喜美は、東京モスリン亀戸時代のもので15~16歳のもの。特高警察に検挙され、激しい拷問を受け誰にも看取られず獄死させられた喜美。肌身離さず持ち歩いてたという「闘争」「死」と刻まれたコンパクトは、どんな弾圧にも屈せずたたかいで抜く覚悟の証だったにちがいない。

(文 七里)  
**飯島喜美**

ための募金に

ご協力を



飯島喜美顕彰碑建立  
実行委員会委員長  
小松 実

旭市出身の活動家・飯島喜美の顕彰碑建立のための募金運動がいよいよスタートしました。この間、実行委員会が会合を重ね、すでに顕彰碑のデザインや予算等を確定、石屋さんへの発注も済ませました。没後90年にあたる2025年12月18日までには、除幕式や記念集会を開きたいと思つ

た。「人権のかけらもない治安維持法によつて多くの国民が犠牲になつた。それを反省するどころか適法だと公言し恥じない政権に抗し、喜美たちのたたかいを受け継ぐ決意を込め

玉川寛治 著

発行:治安維持法国賠同盟千葉県本部  
『女工哀史を超えた紡績女工  
飯島喜美の不屈の青春』



ています。  
敷地は、喜美の故郷である旭市の日本共産党北部地区委員会の一角を提供していただきました。参拝者の休憩施設等、周辺環境の整備や案内板建立後の維持・管理等の費用を含め、300万円という募金目標を設定しました。  
みなさんの積極的なご協力を心からお願いいたします。

# 治安維持法国賠同盟

千葉県本部

り組みでも、会員拡大を意識的に追及する。

## 事務局から

県本部理事会が、6月20日開かれました。

冒頭、小松実会長があいさつし、千葉県は、会員拡大で毎月着実に増やし頑張ってきた。先日、中央理事会が開かれ『署名・会員拡大特別期間』を成功させる決議』を採択したが、そのなかに千葉県同盟の活躍が評価されていた。署名目標を突破したのは全国で千葉のみであった。飯島喜美顕彰碑建立の取り組みは、全国を励ましている、と述べました。

## 1、会員拡大

◆ 6月末までの会員拡大目標600名達成を目指す。

◆ 各支部は、支部目標達成を目指して、対象者を出し担当を決めて取り組む。また、飯島喜美顕彰碑建立募金の取

## 2、国賠署名

◆ 来年の通常国会に向けた新たな署名を開始する。

## 3、映画「伊藤千代子の生涯」の取り組み

◆ 6月9日、映画「伊藤千代子の生涯」千葉県実行委員会事務局会議が開かれ、第3次上映会成功をめざし、6月29日に同実行委員会開催を決める。

◆ 事務局会議では、実行委員会に提案する、全県規模で取り組む大会場での上映会のすすめ方等について検討した。

## 4、報告事項

◆ 6月17日、同盟の中央理

## 5、理事会等の日程

◆ 「不屈」発送を6月13日におこなった。参加者は、小松実、高橋妙子、渡邊喜代子、小松敦、七里一司の各氏。

◆ 三役会と「不屈」発送は、7月11日(火)、8月10日(木)、8月22日(火)。午前10時か

子の生涯」千葉県実行委員会事務局会議が開かれ、同盟かの各氏が参加した。

房総



漫画「はだしのゲン」の著者・中

沢啓治さんに、原爆を書かせたのは、母の死だ。原爆で自宅がつぶれ、夫と娘と息子がその下敷きになつて焼け死に、残つた子どもを必死で育てた母。火葬場で焼いた母の骨は、3~4センチの小さな白い破片と灰しか残らなかつた。「骨の髓まで、原爆は奪つていきやがるのか……」猛烈な怒りがこみ上げたという◆「おやじもー伊藤千代子の生涯」が選定された。千葉から小松実、小松敦、七里一司の各氏が参加した。

◆ 5月27日、第40回日本映画復興賞の贈呈式が都内でおこなわれ、「わが青春つきると

こなわれ、『伊藤千代子の生涯』が選定された。千葉から小松実、小松敦、七里一司の各氏が参加した。

◆ 6月13日、県本部三役会

が開かれ、次回理事会提出の議案等について審議した。

◆ 「不屈」発送を6月13日に

おこなつた。参加者は、小松実、高橋妙子、渡邊喜代子、小松敦、七里一司の各氏。

◆ 6月9日、映画「伊藤千代子の生涯」千葉からは中央本部副会長の小松実、常任理事の高橋妙子、小松敦、理事の七里一司の各氏が参加しました。◆ 6月17日、同盟の中央理事会が開かれ、千葉からは中央本部副会長の小松実、常任理事の高橋妙子、小松敦、理事の七里一司の各氏が参加しました。◆ 6月22日(火)。午前10時か

は大きい。

## 「治安維持法」を

### 学ぶ会の報告



治安維持法国賠同盟  
東葛支部幹事長

日下みや子

同盟東葛支部は、5月30日

(火)に柏駅東口にあるパレット  
柏を会場にして、戦前の悪法  
「治安維持法」を学ぶ会を開催しました。

今、岸田政権が戦争する國へ  
突き進むもとで、稀代の悪法  
を学ぶことはたいへん意義ある  
ことと考えたからです。

定員30名の会場は、31名  
の参加で満席となりました。  
話し手がお2人とも我孫子市  
ということもあり、16名が我  
孫子からの参加者でした。

前半は、竹内壯一さん(同盟  
東葛支部長)が、「特高警察と  
治安維持法」について解説した  
あとに、昨年の6月に発刊し  
た『特高警察が踏みにじった  
人々の記録——千葉県編』を

のひとつは、ある時発見された  
千葉県特高の記録であること  
や、犠牲者271人のうち、2  
4歳で犠牲となつた飯島喜美  
をはじめ、特徴ある人物につい  
て語られました。

田中なつみさんは、「2・

4事件の被告者遺族として父  
を語る」と題して、1933年2

月4日から7ヶ月間、長野県で  
600人の逮捕者を出した「長  
野県教員赤化事件」……権力  
側が名付けた……についてその  
人が田中さんの父親であつ  
たこと、当時の状況などが話  
されました。お父さんはたつた  
一晩の逮捕により、職を奪わ  
れたばかりか、自己否定の苦  
しみを一生抱えました。

熱の入つたお二人の話に会場  
の皆さんには聞き入り、予定時  
間を大幅に超え、参加者から  
大きな拍手がおくられました。

間を設定され、会員拡大では、5  
人拡大と10人拡大の顕彰活  
動挑戦者を呼びかけました。  
千葉では5人が挑戦し、渡邊  
喜代子さんが10人、小松実  
さんが5人拡大を達成しまし  
た。

## 会員拡大

### 会員到達は、650名

6月の拡大は7名、退会は3  
名ですので月の拡大は4名で  
す。会員到達は650名とな  
りました。

3月24日に開かれた中央常  
任理事会で「国賠署名・会員  
拡大の自主目標達成・特別期  
間」(4月1日～6月30日)が

・6月20日、いすみ市  
高島秀文 1筆

・6月24日、県  
横島純子 5筆

・6月30日、  
沢田洋二 5筆

千葉市支部 134筆

## 飯島喜美顕彰碑 建立募金

募金到達、154万円

6月末で250名を超える賛  
同者から、154万円の募金が  
寄せられました。目標額300  
万円の5割を超みました。ご  
協力を頂いた方に心から感謝

## 国賠署名

### 署名到達は、145筆

来年5月に向けた新たな署  
名活動が開始しました。今回  
から支部がある地域は、支部  
申し上げます。

が集約した1か月分の筆数を  
支部名で記載します。支部が  
ない地域は、個人名を紹介い  
たします。よろしくご協力のほ  
どお願いいたします。

治安維持法国賠同盟

# 千葉県本部

## 第50回総会

次期総会までに

国賠署名は800  
0筆をめざす

治安維持法犠牲者国家賠償  
要求同盟千葉県本部の第50  
回総会が6月2日、自治体福  
祉センターで開催されました。  
冒頭、この1年間、再び戦争  
と暗黒政治を許さないために  
活動し、志半ばで亡くなられ  
た千葉県内の同盟員に黙とう  
をおこないました。

小松実会長のあいさつ

県本部の前進を確信に

「治安維持法体制」に

決着を！

一方、安倍政権以来の戦争  
する国づくりの具体化が進め  
られている。背景に、戦争と弾  
圧の歴史への無反省がある。特  
高官僚や思想検事が、戦後も  
日本の各分野にはびこり、そ

小松敦事務局長が

議案などを提案

小松敦事務局長は、23年

度活動方針、22年度会計決  
算報告と特別会計決算報告、  
23年度予算、県本部規約の  
改正、23年度県本部役員に  
ては、議席を奪還した日本共産  
党千葉県議の浅野史子さんが  
会長の鷺尾清さん、そして、一  
斉地方選挙の市川県議選でみ  
ごと議席を奪還した日本共産  
党千葉県議の浅野史子さんが  
あいさつしました。

メソセージは、治安維持法國  
家賠償要求同盟中央本部、日  
本民主青年同盟千葉県委員  
会、千葉県民主医療機関連合  
会、千葉県平和委員会から寄  
せられ紹介されました。

小松事務局長は、議案説明  
で情勢の特徴について述べた後  
この1年間の会員拡大の前進、  
目標を超えて達成した国賠署  
名、映画「わが青春つくるとも  
」伊藤千代子の生涯」の取  
り組み、治安維持法犠牲者名  
簿、特高警察が踏みにじった

れが今につながっている。  
「これを糺し、憲法と民主主義を花開かせるのが同盟運動。  
頑張りましょう」と呼びかけました。

来賓あいさつと  
メッセージの紹介



(前ページのつづき)

人の方が発言しました。

した。

人々の記録「千葉県編」の出版と出版記念講演会の開催、飯島喜美顕彰碑建立への取り組みについて語りました。

そして、「本総会は、この1年

間の活動を総括して教訓と課題を明らかにし、600名の千

葉県同盟を支える新役員を選出することです」と述べました。

次期総会までの同盟建設については、650名をめざすことを明らかにしました。また、国賠署名については、今年度の目標超過達成をふまえ、8000筆を目標としました。

また、映画「わが青春つくるとも—伊藤千代子の生涯—」の第3次上映運動や飯島喜美顕彰碑建立の取り組み、県版「不屈」の発行、財政活動、女性部の活動などについて議案の説明をおこないました。

## 討論

このあと討論にはいり、10

討論終了後、議案や22年度決算報告、規約改正、人事案などが満場一致採択されま

①藤田廣登さんは、映画「わが青春つくるとも—伊藤千代子の生涯—」の全国の運動の到達と教訓について。

②高橋妙子さんは、県女性部の活動と今後の取り組みについて。

③玉川寛治さんは、『特高警察が踏みにじった人々の記録—千葉県編』発行について。  
 ④深津俊郎さんは、船橋支部の再結成について。  
 ⑤三浦眞清さんは、伊藤千代子の生涯—」の上映活動とそのなかでの会員拡大、  
 支部主催の学習会のとりくみなどについての発言は、  
 ⑥渡邊喜代子さん、  
 ⑦伊藤政行さん、  
 ⑧ミール・計恵さん、  
 ⑨竹内壯一さん、  
 ⑩美勢麻里さん、でした。

七里一司副会長から新役員の紹介がされ、新役員を代表して小松実会長があいさつし、高橋妙子副会長が閉会あいさつをして終了しました。

会計監査  
守田達夫(船橋・新細沼敬二(千葉)  
渡邊喜代子(千葉)  
須田淳子(佐倉)  
吉永弘子(千葉)

顧問  
山本和宏  
藤田廣登

会長  
小松 実

副会長  
高橋妙子  
渡邊喜代子

事務局長  
小松 敦  
七里一司  
(会計兼務)

理事(一五名)

(カッコ内は支部名、新は新理事)

伊藤政行(市浦)

日下みや子(東葛)

小松 敦(県)

小松 実(千葉)

澁谷定治(市浦)

高橋妙子(松鎌)

竹内壯一(東葛)

竹内喜忠(市浦)

玉川寛治(千葉)

寺尾 賢(千葉)

## 林の道

こんな道を歩いたら癒されませんか。空気はいいし、ときおり鳥のさえずりが聞こえます。疲れが癒されます。

(写真と文 七里)



## 飯島喜美の顕彰碑建立の取り組みを歓迎！

### 共産党千葉県委員会も力を尽くします

日本共産党千葉県委員会委員長



小倉忠平

千葉県が生んだ女性活動家・飯島喜美の顕彰碑建立の取り組みが開始されたことを心から歓迎します。

岸田政権の下で「戦争する国」づくりが急ピッチで進められている中、反戦平和のために命をかけて闘った飯島喜美は、私たちの大きな誇りであり、

その顕彰碑は戦争と暗黒政治の再現を絶対に許さないといふ決意を共有するものです。顕彰碑建立が平和と暮らしの向上を願う多くの県民の「財産」として永く記録されるよう、共産党千葉県委員会としても力を尽くします。



もう一人の女性  
飯島喜美

広井暢子

『治安維持法と現代』(2019年秋季号No.38)に、日本共産党中央委員会副委員長(当時)の広井暢子さんの「時代を切り拓いてきた女性たちのバトンを引き継ぎ、民主主義と自由の未来へ、ともに歩み

『時代を切り拓いてきた女性たちのバトンを引き継ぎ、民主主義と自由の未来へ、ともに歩み

喜美さんは、1930年、モスクワで開かれた労働組合の国際組織の大会に日本の代表団の一員として参加し、織維産業で働く日本の女性労働者代表として演説します。日本共産党中央婦

喜美顕彰碑建立にあたり、この文の「もう一人の女性 飯島喜美」の部分を再録いたします。

飯島喜美さんは女子紡績労働者の無権利な状態の改善の先頭に立ち、日本共産党員としてた

たかった女性です。

喜美さんが小学校を出て女中奉公にてたのは13歳でした。15歳で東京モスリン紡績亀戸工場では日本資本主義の基幹産業として劣悪で非人間的な労働条件や

労働と生活が全て監視と統制のもとにおかれています。1927年、職場で女子労働者のたたかいがおきます。賃金から社内預金の天引き割合を増やすという話に集会を開き撤回させ、翌年には工場の機械を止めて、500名の女性で賃上げ要求のストライキをたたかいます。たたかいのなかで喜美さんは民青同盟の前身、日本共産青年同盟に加盟します。次々と職場の男性活動家が首を切られ、そのあとをつぐように喜美さんは17歳で入党し、職場の党组织の責任者になります。

喜美さんは、1930年、モスクワで開かれた労働組合の国際組織の大会に日本の代表団の一員として参加し、織維産業で働く日本の女性労働者代表として演説します。日本共産党中央婦

人の任務につき、侵略戦争反対のたたかいを広げていきます。

33年4月にスペインの手引きで検挙された喜美さん。市谷刑務所から父にあてた葉書が1通だけ残されています。日付は1935年3月。そこには着物は破れても(今は)寒さが過ぎたからどうにかなるが、10月に送れたら送つてほしいこと、お金のほうはあってほしくないこと、お金のほうはあと1日分のチリ紙代と石ケン代を余すだけになり、都合出来たら送つてほしいと。13歳で女中奉公にて家族の大変な生活を知る喜美さんが、どんな思いで書いた葉書だったのでしょうか。

市谷刑務所から板木刑務所に移され、重症の結核にかかります。板木刑務所支所には病監がなく、最後まで2畳敷の独房におかれました。1935年12月1日、喜美さんが危篤といいうふものでした。その後に喜美さんはたたかい抜いた日本共産党員としての人生を終えたのでした。死後には学術解剖をしてよいかを問うものでした。その直後に喜美遺品には、「闘争」「死」の文字を刻んだコンパクトがこされていました。

## 千葉市支部第7回定期総会を終えて



治安維持法国賠同盟  
千葉市支部事務局長  
渡邊喜代子

千葉市支部では、6月16日(金)千葉市文化センター会議室で第7回定期総会を行いました。

DVD「自由はこうして奪われた—治安維持法10万人の記録」を観る

1部では、DVD「自由はこうして奪われた—治安維持法10万人の記録」を視聴しました。会員でない方にも是非観ていただきたいと今回、赤旗新聞に折込をしましたが、参加者は16名と少なく残念でした。



マーガレット

(写真 七里)

2部の総会では、2022年の振り返りを行い、今年は250名の会員と2000筆の署名をやろう。大軍拡が進められようとしている今こそ同盟を強く、大きくして力を発揮する時、会員ひとりひとりが仲間を増やし署名も集める活動にするためには、なにより学習が大事、千葉市各区での学習会を開催する中で区ごとの支部結成の足がかりをつくっていこうと決めました。そして、同盟は、ためになるし楽しいと言われるような活動を企画、運営していく為にも役員を引き受けさせてくださる方を大募集です。よろしくお願ひいたします。

映画「わが青春つきるとも—伊藤千代子の生涯—」  
第3次上映運動開始！  
10月1日(日)、千葉市の文化センターアートホール

## 千代子役の主演女優

### 井上百合子さんがあいさつ(予定)

6月29日、映画「伊藤千代子の生涯」千葉県実行委員会

が開催され、大きな会場で上映会を開催し、全県的な取り組みで成功させることが決まりました。

上映会では、千代子役の主演女優・井上百合子さんのあ

いさつが予定されています。  
日時 10月1日(日)  
午後1時～5時  
会場 千葉市の文化センター  
アートホール  
(固定席493席、車椅子  
スペース4席)

1部では、DVD「自由はこうして奪われた—治安維持法10万人の記録」を視聴しました。会員でない方にも是非観ていただきたいと今回、赤旗新聞に折込をしましたが、参加者は16名と少なく残念でした。

今年は、250名の会員、  
2000筆の署名をめざす

## 市川浦安支部

### 講演と支部総会

市川浦安支部は、6月23日、浦安市で講演と支部総会を開催しました。参加者は13人でした。

講演は、小松実さん

「いまなお続く、特高政治」

同盟県本部会長の小松実さんは、「いまなお続く、特高政治」と題して約1時間講演しました。

小松さんは、まず国賠同盟について話し、千葉県は1974年12月14日、千葉県支部を結成、初代支部長は小松七郎さんであったと語りました。治安維持法と弾圧の実態、特高官僚たちがその後大手を振つてよみがえり、日本の政治を牛耳つてきただと具体的例をあげて明らかにしました。そして、戦後政治の歪みの大本を正す運動と組織をもつと大きくするために頑張りましょ

うと結びました。

来年の総会までに

会員は80名に、

国賠署名は

1000筆達成を

講演終了後、支部総会が開かれました。総会では、支部長の田中長義さんが開会あいさつをしあと、事務局長の伊藤政行さんが議案などの説明

### スモーケツリー(煙の木)

庭のシンボルツリーとして人気があるとか。花が咲いた後、綿毛のような穂が木全体を包み込み、煙が立ちのぼつているように見えることから名付けられたといいます。

原産地はヨーロッパやヒマラヤ、中国などだそうです。

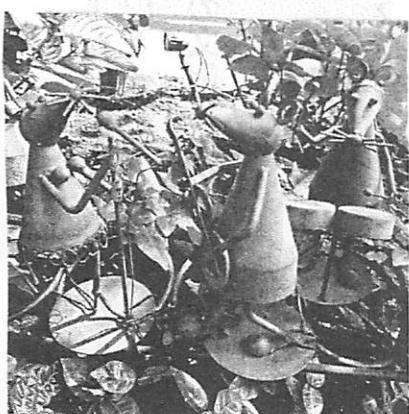
(写真と文 七里)



### ネズミの楽団

ふと目をやつたら、ネズミの楽団が。どなたが置いたのか、道路の植え込みに。楽しそうですね。

(写真と文 七里)



をおこないました。

伊藤さんは、次期総会までに80名の会員にし、国賠名は

1000筆達成を目指すこと

を提起しました。提案された

議案、会計報告、新役員は満

場一致で採択されました。

事務局長  
伊藤政行

七里一司  
塙治子

女性部長  
安達絹恵

県女性部担当  
美勢麻里

財政担当  
高橋タツ子

会計監査  
澁谷定治

阿部武弘

清水みな子

支部長  
田中長義  
副支部長  
竹内喜忠  
新役員

理事  
浅野史子

読者の文芸



短歌

八千代市 野原隆志

誰も居ぬ古民家の梅ゆれそよぎ跳ねた小鳥は鶯ならむ

ショベルカー古民家剥がし

居た人の暮らしも消して更地は静か

青い空新築ビルに次々と陣取りされて狭くなりゆく

白い花夏柑の樹で日々咲いて香り流れてアゲハも来たり

高空で翼広げて風に乗る三羽の鳩はレース鳩かも

銚子市 真久絢子

ああこんな私でよいかと問う朝に庭の朝顔きつぱりと咲く

邪魔にされ幾度も枝を払はれし柘榴に

小さき実の一つつく

降り立ちし袖ヶ浦駅なつかしき友は杖突き我を待ち居り  
(五十年ぶりに友に会う)

全滅を玉碎と言ひき原発の推進を脱炭素だと言ふ

ヒロシマの舞台は演出効果あり

やつてる感が出せるでせうよ

イトから戦争になる

殺してもいいのだあれは敵なんだから

爆心地に「核のボタン」を持ち込んで

現状確認のサミットだとよ

汚染水の海洋投棄は許さじと六月八日は世界海洋の日

街灯

街灯の出現は、ヨーロッパでは比較的大きな都市、パリやondonに登場したそうです。日本では江戸時代に、町屋の店先や辻番所などの前に行灯の辻行灯が設置されたとか。光源は、油か蠟燭。

いまは魅力的な街灯を見ながら散策を楽しむことができ

ます。暗くなつた街の街灯を見るのも風情がありますね。

(写真と文 七里)

銚子市 三浦好博



匝瑳市での『特高警察が踏みにじった人々の記録』—千葉県編  
—出版記念講演会での講演

## 治安維持法犠牲者千葉県関係者名簿と飯島喜美顕彰碑建立事業について



「飯島喜美の不屈の青春」著者

治安維持法国賠同盟

千葉県本部理事

玉川寛治

(4)



内務省警保局保安課

『特高月報』



がつくつた『治安維持法弾圧犠牲者名簿』と、それから茨城県の『共産主義運動史』の4つの原典から、犠牲者の一人一人を名簿化して、どこの原典に載つてゐるか、どこで活動していたか、どこに本籍があるかなどがわかる本を作つてくれたんですね。ここに大体1500人分の犠牲者が載つかつたんです。この中から千葉県の関係者を全部引張り出せば名簿ができるのではないかといふことで、はじめてつくれることがわかつたんです。あわせて私は、一生懸命名簿から千葉県関係者を一覧表を作りました。それで千葉県本部は名

この本に、特高警察がつくつた『特高月報』と内務省がつくった『思想月報』、今の国民救援会である日本赤色救援会

簿を作るということを具体的に詰めまして、編集委員会をつくつて、理事の方4人でこの名簿全部拾い出して名簿化して五十音順に並べていったのが、この名簿なんです。初めて名簿ができたというところで、これは主に特高警察がつくれた『特高月報』と『思想月報』というものから作られていましたけど、今までなかつた名簿ができたということで、いろいろ調べてもつともつと立派な名簿ができるいくんじやないかと考えているんです。

この名簿の中身を見ますと、どんな人が捕まつているかといえば、平均年齢は29・1歳、1930年代、40年代というのは日本の青春時代だったんですね。今、日本共産党なんかは、何とか若い人とか入れたいといつていますけど、この時は29・1歳が平均で、一番若いのは11歳の人も捕まっています。だいたい20歳代の人でどんな人が捕まつていたかというと、

業した人が22人、高等小学校、今でいうと中学校ですね、これを卒業した人が33人、今の新生高校を卒業した人が5人、高等師範を卒業した人が7人、大学をでた人が54人ということで、ほとんど小学校・高等学校を出た人、高校を出た人、大学をでた人、3分の1ずついたもんですから高等学校の人だけが運動に参加したわけじやなくて、日本中の若者が当時は革新運動に参加していましたんじやないかと思われます。

千葉県の中でも獄死者は飯島喜美、高島満兎、関口進隆獄死者に準ずる者が秋葉利勝近藤安治、高橋善雄、吉岡庄蔵、堀内晃という人が、名簿から明らかになりました。

名簿はどんなことが書いてあるかというと、飯島喜美について述べますと、飯島喜美は23歳、検挙は警視庁、昭和8年12月2日起訴、犯罪事実は党员、さつきも言いましたね、

(次号につづく)

日本共産党とともに

## 私の五十年史

(2)

千葉市、一九四九年

(1928年～2022年)  
十月入党

市村しげ子

四寮ある女子寮の出入り口はレジットページに賛成の組合幹部が日夜見張りをしている。私たちも深夜洗面台やトイレにビラを置く、また寮大会を開いて、寮改善の要求を決めた。それは廊下の電気をもつと明るくして、娯楽室にラジオを、後番の人にも暖かいお風呂を、早番に温かい食事を、食事の献立はかえないように、手紙には間違なく本人に渡すようになど、ささやかな要求ばかりでした。この要求が通るまで五人の首切りは許さないと決議して交渉をもつた。会社側はページ以外の要求は簡単にも行く所がないと言えばすぐ

かよく憶えていない。若く経験もない我々の精一杯の闘いだったと思う。しかし悲壮感は無かった。五人が一緒にいたので話し合って意思統一が出来たし、息抜きで遊ぶことも忘れない。毎日寮母が決まった時間に見回りにくるので、廊下にスリップの音がすると皆で押入れに隠れる、「アーラお出掛け」と部屋にはいつてくるが押入れまでは開けないでとぼけて帰つてゆく。三食昼寝付で時間はたっぷりあつたが真剣に本をよんだり勉強したりの記憶が無い。

このレジットページ闘争中に鈴木百合子は、会社に騙されて退職金を受け取ったが、私は五人の首切りは許さないと決議して交渉をもつた。会社の外へ放り出されたのを知ったのは後になつてからでした。十

五年は菅原利子、鈴木久子、伊藤愛子、戸田キナ、そして私は残った三人が会社の近くに住んで外から再建をめざして工作を続けたが、中に残った大竹さん(男性エリート)が突然関西転勤になつた。党的领导で「裏切りだ」と云うビラを門前で撒いたが、当時の組合幹部は「あれは不当配転だよ」と言つていた。私たちも失業保険が切れ、それぞれ働きに出るようになつて、外からの工作は続かなかつた。

その頃の党常任の生活はひどいもので、Y氏も例外では無かつた。指導を受ける中で愛を育み仲間の祝福を受けた結婚でしたが、やつと見つけた仕事も不安定な臨時工で、生活は乱れて行つた。先の見えない毎日悩んだ末に、話し合つて一年で離婚を決めた。Y氏は七年名譽回復農村で働いていたが、浅後氏がスパイ容疑?で党常任を解任され(五十年で離婚を決めた。Y氏はその後になつてからでした。

原因の一つに浅後氏の存在があると言う事が解つたのは後に

(次号につづく)

1997年7月26日、  
日本国民救援会での講演

## 治安立法体制の歴史とたたかい

(7)  
弁護士・元自由法曹団団長



(1926年—  
2009年5月10日)

例えば保安処分等の部分は、精神医療の拡充・改善というふうにながれていきましたし、新しい事態に必要だというので、コンピューターによる犯罪等について新しい法律を作るということになっていきましたし、意見の対立のある条文、意見に大きな開きのある部分については、改正を見送るということになつて、結局、改正刑法草案は粉碎されてしまつて、政府が法制審を通過させた基本法制といえども、その治安主義的改正はできないという日本の立法史上初めての実績をつ

事件を機会に少年法の改正問題がいろんなところで取り沙汰されるようになつてきたことはご存知の通りです。警察拘禁二法の問題なども、すでに数回にわたる廃案を経て、いまだに成立の見込みが出ていないというものです。これについても刑事裁判の根本にかかわる問題として、これは代用監獄廃止要求、誤判の問題などをはらんで大きな話題を呼びつつあることもご存知の通りです。

国家機密保護法案も八四年から何度も廃案を経て、ついに今日では表向きの動きは止まつているように思います。こ

れが今年の秋のガイドラインの見直し等といった動きのなかで軽視できませんけれども、と再燃してくる可能性は決して難がある。また、無理してその

くつたものだといっていいでしょう。

見て、成果を挙げたことは我々の共通の経験です。たたかいの組織や運動の方法は多様なものであつていいし、また多様なものにならざるをえない。

およそそれぞれの組織が創意と工夫を發揮し力を合わせて運動の展開に取り組むというのが、悪法反対闘争の積み上げてきた蓄積だらうと私は思

います。

なお、今回の破防法適用阻止について、「法治主義の成熟」とみる向きがあるとすれば、まちがつてゐるだらう。せいぜい「芽生え」とでもいうべきで

しよう。とすればその芽をふいた種子は、京都、三重、鉄路、岐阜の裁判闘争と無罪判決(一九五六・七〇年のなかに撤かれていた、というべきでしょ

ります。ことに社会党の総理大臣のときに破防法の適用を申請するといったようなおかしなことになりまして、どうしても反対運動を組織的に一つの運動体に作るということは困難がある。また、無理してその

ようなことをしなくても運動は展開するんだということが今回の経験のひとつです。

例えば、今回のオウムの問題

( 次号につづく )